

# ごあいさつ



2011年3月に発生した東日本大震災により被害を受けられた皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

日本テレビが1953年8月に民放初のテレビ放送を開始して58年目の今年7月、日本の地上波放送はアナログ放送を停波し、デジタル放送へと完全移行しました（東日本大震災で特に大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の3県は延期）。これに伴い、全国でデジタルテレビへの買い替え等の対応がとられ、地上デジタル放送の他、BS・CSチューナーを内蔵するテレビが数多く普及しました。さらにインターネットによる映像コンテンツの配信も本格化するなど、技術革新が進むなかで視聴者の選択肢は大幅に増加しています。

テレビの地上波放送が依然として最強の広告媒体であることには変わりありませんが、唯一の媒体だった時代は終わりを告げ、新しいメディアと時には協調し、あるいは競合しながら進んでいく時代に入ってきました。

このような事業環境の変化に対応するため、日本テレビでは2011年6月に経営体制の大幅な若返りと刷新を図りました。社内の空気も一新させたいと考えております。社員ひとり一人の力を生かして強力なコンテンツを創造し、視聴率トップの座を奪還するとともに、テレビ広告収入以外の収入を拡大させることにも、これまで以上に取り組んでまいります。

また、東日本大震災で日本は大きな被害を受けましたが、社会に影響力の大きいメディアとして、被災者の方々の支援や復興に貢献していくことが、私たちの使命だと考えています。

日本テレビは2013年に開局60周年を迎えますが、我々の中には創業の理念が脈々と引き継がれています。1つ目は大衆に奉仕する精神を忘れず文化と福祉の向上に努めること、2つ目は正しく速やかな報道と視聴者の心に通う番組作り、3つ目は広告放送を通して経済の発展に寄与すること、そして4つ目は常に世界の先駆者として未来に向かって前進することです。今後も、創業の理念を大切に、ステークホルダーの皆様が必要とされ、信頼されるメディア企業であり続けるために全力を尽くします。

皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年8月

細川 知正 大久保 好男

代表取締役 会長執行役員

細川 知正

代表取締役 社長執行役員

大久保 好男